

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 29 号 (令和 2 年 1 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3 か月に 1 回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：169 社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査 152 社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和元年 7～9 月の景況感（調査時点 令和元年 9 月 1 日）  
今期・・・令和元年 10～12 月の景況感（調査時点 令和元年 12 月 1 日）  
次期・・・令和 2 年 1～3 月の景況感（調査時点 〃 ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI 値算出による（次ページに DI 値の説明あり）

## 景況及び 4 項目の調査結果（全業種）

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期の DI 値を記載

**全業種の景況感は、前期の 1P から 6P 悪化し、【△5P】となりました。**

今期は、サービス業【△11P】が、7P の改善を見せましたが、他の業種は悪化しました。

次期については、卸・小売業は大幅な改善、全体的に見ても改善傾向を見込む中、製造業は更に悪化する見込みです。

全業種の項目別でみると、雇用人員は、依然として厳しい状況が続いています。

昨年同期（平成 30 年 10 月～12 月）の景況感比較は、「変わらない」が半数以上を占めています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P 以上)	やや良い (6 P~14P)	変わらない (△ 5 P~ 5 P)	やや悪い (△ 6 P~△14P)	悪い (△15P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期の DI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【 △ 3 P <変わらない> → 】 (前期比△ 8 P)

売上額【 8 P】、雇用人員【△25P】、資金繰り【10P】が、それぞれ 13P、13P、12P 改善しましたが、収益【△13P】は 6 P 悪化しました。

次期は、全項目で悪化し、その中でも売上額は大幅に悪化する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・材料費が高いことが影響し、生産・売上額に対して収益が伸びない。
- ・米中貿易摩擦の影響で、少しずつ景況は悪化している。
- ・人員はいまだ不足しており、従業員からの紹介制度など新たな取り組みを始めた。


### (2) 建設業 景況感 【 22P <良い> ↑ 】 (前期比△10P)

前期と比べ、全項目で横這いとなりましたが、雇用人員【△45P】は、厳しい状況が続いています。

次期も全体的に横這いの見込みですが、雇用人員は更に悪化する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・関東を立て続けに直撃した台風の影響で屋根工事及び防水工事の受注が増加している反面、人の確保や先行支払い等が多く、資金繰りの苦慮、工事自体の遅延などもある。
- ・オリンピックで職人が取られ仕事が進まないうえに、台風の被害でまた更に職人が少なくなっている。
- ・オリンピックの影響で、労務費の高騰は避けられない。効率的な工事を目指し、工事スタイルを外注から自社に切り替えていくなど営業努力をしている。


**(3) 卸・小売業 景況感 【  $\Delta 25P$  <悪い>  】 (前期比 $\Delta 10P$ )**

雇用人員【 $\Delta 34P$ 】は横這いですが、売上額【 $\Delta 30P$ 】、収益【 $\Delta 26P$ 】は、それぞれ 20P、11P と大幅に悪化しました。

次期は、売上額、収益が大幅に改善する見込みですが、雇用人員は更に悪化する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・消費増税と台風の影響により、10月は大変厳しかった。キャッシュレス決済の利用を推進する等、経営努力によりダウンした分を取り戻せた。
- ・働き方改革で、休暇や残業の見直しをした。生産性、作業効率を上げ、時間を厳守した。
- ・配達の間際にチラシを配る等、固定客増加を目指していく必要がある。

**(4) 不動産業 景況感 【  $6P$  <やや良い>  】 (前期比 $\Delta 8P$ )**

売上額【 $6P$ 】、収益【 $7P$ 】、資金繰り【 $\Delta 7P$ 】は横這いですが、雇用人員【 $\Delta 33P$ 】は、12P悪化しました。

次期は、売上額、収益が大幅に改善する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・売買仲介案件が多く、消費税増税の影響は感じられなかった。
- ・台風の影響により不動産市況が低迷し、仕入物件に苦労している。現在保有している商品の販売を推進し、売上伸長を図る。

**(5) サービス業 景況感 【  $\Delta 11P$  <やや悪い>  】 (前期比 $7P$ )**

前期で回復を見せた雇用人員【 $\Delta 38P$ 】が 22P と大きく悪化しました。資金繰り【 $\Delta 11P$ 】は、14Pの改善となりました。

次期については、全体的に横這い傾向が見込まれますが、雇用人員は厳しい状況が続く見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・保険業界の業況は低迷しており、新規顧客の獲得は勿論、継続顧客の確保さえ厳しい状況となっている。
- ・人口減少、経済衰退、景気低迷によって横須賀市内の営業は大変厳しいものがある。人手不足、消費増税も拍車をかけており、色々と対策を講じているが、まだ効果は見えていない。
- ・横須賀市内の固定顧客は減少しているが、他市の需要を取り込み、対応している。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和元年7～9月の景況感（調査時点 令和元年9月1日）  
 今・・・今期 令和元年10～12月の景況感（調査時点 令和元年12月1日）  
 次・・・次期 令和2年1～3月の景況感（調査時点 令和元年12月1日）



業種別調査企業数(業種別調査企業数(回答数))

(単位:社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	157	40	31	40	14	32
今期	169	40	31	47	15	36
次期	169	40	31	47	15	36

(単位:ポイント)

業種 項	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	21	20	18	20	20	15	45	35	32	13	15	17	14	13	13	13	17	14
変わらず	59	55	64	65	57	55	42	52	65	59	45	57	86	80	87	56	55	69
悪い(B)	20	25	18	15	23	30	13	13	3	28	40	26	0	7	0	31	28	17
DI値(A)-(B)	1	△5	0	5	△3	△15	32	22	29	△15	△25	△9	14	6	13	△18	△11	△3
今-前/次-今	△6	5		△8	△12		△10	7		△10	16		△8	7		7	8	
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	25	25	20	23	28	18	48	42	35	20	17	15	14	13	27	19	22	14
変わらず	51	49	58	49	52	47	33	45	59	50	36	55	79	80	73	59	53	64
悪化(B)	24	26	22	28	20	35	19	13	6	30	47	30	7	7	0	22	25	22
DI値(A)-(B)	1	△1	△2	△5	8	△17	29	29	29	△10	△30	△15	7	6	27	△3	△3	△8
今-前/次-今	△2	△1		13	△25		0	0		△20	15		△1	21		0	△5	
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	19	21	19	18	15	15	35	35	26	13	17	17	14	20	33	16	22	14
変わらず	59	49	58	57	57	55	46	42	61	59	40	55	79	67	67	65	47	58
減少(B)	22	30	23	25	28	30	19	23	13	28	43	28	7	13	0	19	31	28
DI値(A)-(B)	△3	△9	△4	△7	△13	△15	16	12	13	△15	△26	△11	7	7	33	△3	△9	△14
今-前/次-今	△6	5		△6	△2		△4	1		△11	15		0	26		△6	△5	
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	3	5	4	5	10	8	0	3	0	0	4	2	0	0	0	9	6	6
適正	62	55	54	52	55	57	58	49	48	65	58	55	79	67	73	66	50	47
少ない(B)	35	40	42	43	35	35	42	48	52	35	38	43	21	33	27	25	44	47
DI値(A)-(B)	△32	△35	△38	△38	△25	△27	△42	△45	△52	△35	△34	△41	△21	△33	△27	△16	△38	△41
今-前/次-今	△3	△3		13	△2		△3	△7		1	△7		△12	6		△22	△3	
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	12	12	11	13	20	18	23	16	13	13	11	9	0	0	0	6	8	8
支障がない	63	66	70	72	70	72	48	61	68	54	51	59	93	93	93	63	73	75
苦しい(B)	25	22	19	15	10	10	29	23	19	33	38	32	7	7	7	31	19	17
DI値(A)-(B)	△13	△10	△8	△2	10	8	△6	△7	△6	△20	△27	△23	△7	△7	△7	△25	△11	△9
今-前/次-今	3	2		12	△2		△1	1		△7	4		0	0		14	2	

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答157社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	35社	22%	19%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	83社	53%	53%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	39社	25%	28%
DI値(A)-(B)		△3P	△9P

